

たかつき 2014 4

大阪高槻ワイズメンズクラブ

〒569-0804 高槻市紺屋町8番5号 高槻YMCA Tel 072(682)1322 Fax 072(681)7393

会長主題：「今できることを はじめよう！」 会長 伊藤 正尚

役員会
 会長 伊藤(正)
 副会長 金田・萩原
 書記 森本
 会計 大谷
 会計監査 川岸
 直前会長 西野
 幹事 和田
 連絡職員 小西

主 題
 国際会長(IP)：Poul V.Thomsen
 「全ての世界に出て行こう」
 アジア会長(AP)：岡野泰和(大阪土佐堀)
 「未来を始めよう、今すぐに」
 西日本区理事：高瀬彦彦(岩国みなみ)
 「志を持って例会に参加し、
 学びの機会を持ちましょう」
 中 西 部 長：塚理(大阪茨木)
 「ワイズの価値を見直そう」

4月 ASFの月

1年の総括を次年度に活かしましょう

正野忠之Yサ・ユース主任

行事予定

月日	曜日	行 事
4/8	火	合同例会(19:00～) 茨木市立クリエイトセンター
4/16	水	役員会(19:00～) 豊都ビル
4/26	土	第4回中西部評議会

互いに愛し合いなさい。
 ヨハネによる福音書15章17節

今月の聖句

今月はイースターを祝う月。この聖句は、武家の娘から嫁いだ新島八重が86歳で亡くなる最後まで、自分の信仰を深めるベースとした聖句のようです。神様の愛を信じ自分自身もその愛に応えて生きようとした彼女は、周囲の非難や無理解を恐れず、自分にも周囲の人々にも意味のある新しい生き方を勇気を以って選び取っていったのでしょう。慈しみ深い友なるイエスと共に。

4月例会

「茨木市の歴史と文化遺産……中川清秀」

ゲストスピーカー 茨木市立文化財資料館学芸員 清水邦彦氏
 とき：4月8日(火) 19:00～21:00 ところ：茨木市クリエイトセンター204号室

戦国時代、高槻城主の高山右近と同じキリシタン大名として名を馳せた茨木城主の中川清秀は、茨木生まれの武将であり、市内の梅林寺(茨木神社の近く)に墓があります。

その次男・中川秀成は、徳川の世で岡藩(大分県竹田市)の初代藩主となり、以来、中川氏は明治維新までこの地を治めます。これが縁となって、平成25年11月、茨木市は竹田市と「歴史文化姉妹都市提携」を結びました。

今年1月16日～3月17日には、茨木市立文化財資料館(茨木市東奈良3丁目)において「茨木藩主中川清秀と中川氏」と題する企画展が開催され、中川氏にまつわる史料等が市民に公開されました。

今回の合同例会では、同資料館学芸員の清水邦彦氏をお迎えし、中川清秀を中心とする茨木市の歴史と文化などについてご講演をいただきます。キリシタンの歴史を知り、また、郷土の歴史と文化を学ぶよい機会になるものと期待します。

3月例会	在籍 20名	メネット 4名	3月	ニコニコ	ファンド	BF
	広義・功労 2名	コメント 0名		15,350円	10,000円	切手0pt
	出席 13名	ビジター 0名				現金8,234pt
	メイクアップ 1名	ゲスト 0名				
	出席率 77.8%		累計	136,979円	137,633円	8,234pt

例会日と場所が変わっています。今月の例会は、茨木クラブとの合同例会で、茨木クラブのホストです。日取りと場所のお間違いのないように！



次期会長 大谷 勝彦

今年には2005年の初会長から10年目。初めての会長として、六甲研修センターで超緊張の中で1泊2日の会長研修を受けた時を思い出し、また、2006～07年、立場を変えて区の書記として「会長の役割に関する諸事項」について説明しクラブの運営がスムーズに行くようにと事細かく話した事を思い返しながらか会長としての役割、責任等について勉強した。

多くのクラブで運営上人員増に課題をもちメンバーの増強に四苦八苦し、何とかしたい、そのために何を、どのようにすれば活性化するかという点が共通の課題としてあった。研修の冒頭に「ワイズメンズクラブの未来…視点を変えて見直そう…」のテーマで大野ワイズの講義があり、「楽しい例会」をする工夫を様々な視点から指摘された。楽しい例会をするには如何すればいいか、そのために会長をはじめクラブメンバーは自分のクラブの例会をどう感じているのか、自身楽しいか？満足しているか？理想的な事を言って人を集めようとしていないか？「奉仕をしよう」の呼びかけで人は心引かれて入会するだろうか？活動に、例会に楽しいプログラムを実施しようと話された。もう1点、クラブ入会時のオリエンテーションの徹底が強調された。ドロップの多いのもここに問題があるとの指摘であった。

続いて、次期部長の下に中西部の各会長が集まり、部としてまた自分のクラブとしての課題にどう取り組むかについて意見が交わされた。ここでも「楽しい活動、例会」の工夫に関して部としてどうするのか？各クラブは？クラブの活性化と部の協働についてのアイデアが話された。

今回の研修会は準備から実行まで若いLD委員で運営され内容等もなかなか良く整えられておりその働きは素晴らしかった。高齢化してゆくワイズの中に、次代を担う若者もいる。会長をしている間に何人かこんなパワーのある人を仲間に加えられるればとの願望と決意をもち、みんなに呼びかけ本気で関わる仲間と一緒に活動したく思った。

次期Yサ・ユース 西野 陽一

「2013年度 次期会長・主査研修会」が3月8日(土)～9日(日)にチサンホテル新大阪で開催され、西日本区の役員をはじめ、各部・各クラブから次期会長・主査など160余名のワイズメンが参加しました。高槻クラブからは、次期会長の大谷ワイズと次期Yサ・ユース主査の私が参加しました。

1日目は、午後1時の開講式から始まり、大野元理事(京都パレス)による「ワイズメンズクラブの未来」と題する講演、高瀬理事(岩国みなみ)の「西日本区の現況報告」、松本次期理事(大阪西)の「新役員紹介&次期理事活動方針」、浅岡直前理事(近江八幡)と7名の次期事業主任による「新組織について&次期事業主任活動方針」と続いた後、3つのグループ(初めての会長、二度目以上の会長、事業主査)に分かれての「会長の責務」「主査の責務」の講義、さらに2つのグループに分かれての「キリスト教理解」の講義と6時過ぎまで充実したプログラムが続ききました。翌日は、8時の「聖日礼拝」から始まり、「YMCA理解」「会長の事務手続き」「事業主任・主査の連携」「各部に分かれての懇談」があり、3時の「閉講式」で、2日間の研修会が終わりました。

私にとっては「次期会長」として参加した一昨年に続いての参加となりました。前回は1日目だけの参加でしたが、今回は2日目の昼まで参加しました。前回は研修会全体として、次期会長・主査に対しての叱咤・激励が強調され、「ハッパを掛けられる」という印象でしたが、今回は冒頭の講演で大野元理事は「クラブ内の親睦」を強調され、前回とは少し違った印象を受けました。「主任・主査の連携」では藤本次期Yサ・ユース事業主任が「事業主題」「事業方針」「事業計画」「表彰基準」について明確に説明され、主査からの質問にも丁寧に答えられました。藤本主任は30才でワイズ歴も7年と若い方ですが、よく勉強されていると感じました。

理事をはじめ、各部長・事業主任のプロフィールを見ると、私よりワイズ歴の長い方はおられません。それぞれ意欲・熱意をもってワイズ運動に活躍しておられることに敬服しました。翻って、私はワイズ歴は35年と長いのですが、「いい加減な会員」を続けてきたことを反省し、研修会に持参した「ワイズ読本」を読んで、少しは勉強しようかと思いました。この研修会で学んだことを、今後のクラブ運営や中西部の活動に生かすよう尽力したいと思っています。



3月に入ったとはいえまだまだ寒さが続くなか、久しぶりにホームグラウンドで開かれた例会。春らしい彩りのある食事に、料理人さんの心遣いが見られ嬉しい気分になる。会場には連絡主事の小西所長が欠席のため掘真由美リーダーが来てくれた。伊藤俊枝、大谷洋子、金田ユキ子、森本好子の4人のメネットも加わり、賑やかで、艶やかで、会場が春らしく明るくなったと感じたのは私だけか。

今月は川岸、和田ご夫妻の「最新のミャンマー事情・ミャンマーを旅して」と題してのメンバースピーチ。2月24日から10泊11日間、土佐堀クラブの奥田メンとの3人旅が100枚近くのスライドを使って語られた。

出発地は大阪空港。成田経由でミャンマー・ヤンゴン直行のANA便が就航したのを利用された。これまでタイ・バンコクか、韓国・仁川経由で行っていたのが、直行便だと時間のロスが無くとても良かった、とのコメントに納得。

最初の訪問地ヤンゴン市内の日進月歩の変革が写真からも見てとれた。最新の自動車、新築されたばかりのビル、ミャンマーと言えばロンジンと言われた巻きスカートのような服装を纏っている人も少ない。これは次の訪問地マダレー市内の様子からも伺えた。

9割の人が仏教徒と言われるように、日本のお寺に当たる「パゴダ」では、金箔を仏様に張付ける人が写っていて、「喜捨」の精神が今も伝えられている事を感じた。インレー湖や川の水に纏わる写真も数多く見せて頂いた。都市基盤が整備されていないため生活排水は垂れ流し、ゴミは山積みが続く限り、公害問題が起きるのも時間の問題かもしれない。

「写真を撮るより頭に記録せよ」と良く言われるが、こうして数多くの写真を見て生の声を聞かせて頂くと、時間がなかなか取れない者にとってはとても有難く、川岸・和田ご夫妻に続く人が増えたら良いのにな、と思ったお話だった。

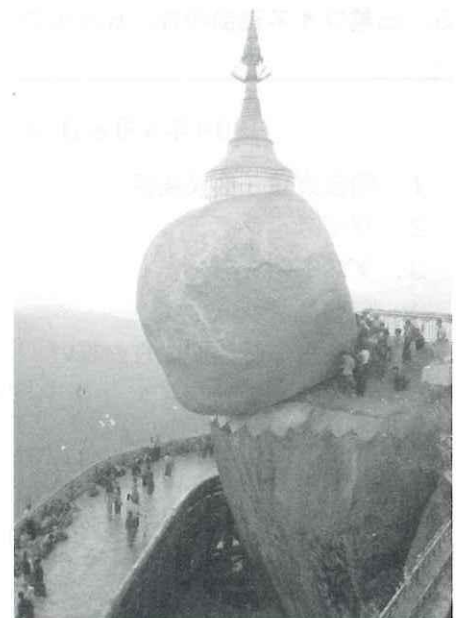


▲マダレーYMCAひとセンター ▼帽子のプレゼント



▲インレー湖の木蔭 ▼奇跡の塔

(左欄より続く)メンバースピーチならではの気さくな雰囲気質問も多くあり、時間の経つのも忘れていましたが、司会の河戸ワイズがきっちりと時間通りに締め下さいました。



2014年4月役員会報告

日時：2014年3月19日(水) 19:00~20:20

場所：豊都ビル3階

出席：伊藤会長、大谷、金田、栗田、西野、三浦、和田、森本。(議事録作成者：森本)

【報告事項】

- 3月例会(3/12) たかつき京都ホテル
出席：13名メネット4名ゲスト1名。計18名
- セントラルクラブ20周年記念例会(3/15)(別項)
- 2/25~26 高槻天満まつりポン菓子販売。
300袋完売。収益金はクラブ会計に。(既報)
- 訃報。大阪土佐堀クラブの小森三省さん急逝。
- 次期会長・主査研修会(3/8~9)チサンホテル新大阪。大谷次期会長、西野Yサ・ユース事業主査(別稿)

【協議事項】

- 4月高槻茨木合同例会(4/8、ホスト：茨木) 茨木市クリエイティブセンター204。19時~21時。「いばらきの歴史と文化遺産(中川清秀について)」講師：清水邦彦氏(茨木市立文化財資料館学芸員) 出欠確認(書記)4月5日まで。会長→茨木へ。会費@1,500円(栗田会計が用意) 例会道具持込・引取(萩原)クラブバナーのみ。
- 3/22の高槻YMCAリーダー感謝会。協賛金 拠出。(感謝会後第3回アクションダイアログ予定) 参加予定：伊藤会長、金田、川岸、河戸、西野)
- 西日本区大会出席者確認(補助金支給) メン・メネット：伊藤正、大谷、森本。メン：金田、川岸、栗田、西野、和田。
- Tシャツと例会場のクラブ看板作製費の件。
①Tシャツ(黄色)：マークも見本通りに承認。
②看板：デザイン承認。見積書提出の事。
- 三島ワイズ退会の件。6月末での退会を承認。

- 5月例会(5/14)たかつき京都ホテル(講師例会) 企画依頼→例会担当(金田、川岸、西野、萩原、浜脇、山崎)備品持込：萩原 引取：金田 以上。(原本は書記が保管しています)

セントラル20周年例会

3月15日(土)4時から7時まで大阪セントラルクラブ創立20周年記念例会が、53名の出席者を迎え大阪YMCAIOFチャペルにて行われました。

わがクラブから金田、川岸、和田(奏楽)が出席、受付に久々吉田晴津子ワイズがおられ嬉しく思いました。しきりと少人数クラブで行き届きませんが…と謙遜されていましたが、なんのなんの、礼拝、祝辞の第一部、立派なお食事。第二部は支援先YMCA土佐堀・上町両校から留学生7名を招きスピーチコンテスト形式で、楽しいお話を聞かせていただきました。聴衆がそれぞれ一番気に入ったスピーカーに一票を投じるものでした。短時間に7か国、7人の話を聞くとはいまだとないことで、良い企画だったと思います。他クラブ訪問は新たな視点を発見したり、反省点を発見したり、良いことが多いです。Let's Try!他クラブ訪問。

YMCAニュース リーダー感謝会

3月22日、YMCAに関わる人々から祝福を受け、下記の8名のリーダーが卒業しました。

山下 功平(サボテンリーダー)
石塚 理紗(うさぎリーダー)
田淵 有香(こぐまリーダー)
浦 いずみ(うららリーダー)
杉林 友絵(すいかリーダー)
伊香 知美(やりいかリーダー)
日高 綾美(ぴのリーダー)
貞松 茜草(すまいるリーダー) 涙!涙!涙!

4月例会プログラム

2014年4月8日(火) 19:00~21:00 茨木市クリエイティブセンター 司会 津川 衛

- | | | | |
|---------------------|-------|-------------|-------|
| 1. 開会点鐘・会長挨拶 | 茨木ク会長 | 11. ニコニコアワー | — 同 |
| 2. ワイズソング | — 同 | 12. YMCAの歌 | — 同 |
| 3. ゲスト紹介 | 副 会 長 | 13. 閉会挨拶と点鐘 | 高槻ク会長 |
| 4. 聖句朗読 | 浜野 昌保 | | |
| 5. 誕生日・結婚記念日お祝い | 両 会 長 | | |
| 6. インフォメーション | 書 記 他 | | |
| 7. 食前感謝 | — 同 | | |
| 8. 晚餐・歓談 | — 同 | | |
| 9. クラブソング | — 同 | | |
| 10. 卓話「茨木市の歴史と文化遺産」 | 清水邦彦氏 | | |

お誕生日おめでとう

浜脇 昭君 21日

結婚記念日おめでとう

伊藤 俊彦・直子 ご夫妻 29日
☆今月の例会担当は茨木クラブです。

